

もっと知りたい、健康のこと。

静岡赤十字病院広報誌

2021年・夏号

vol.359

|季|刊|発|行|

日赤News

ほっとニュース

「片頭痛発作の
発症抑制外来」がスタート

【特集】

家族で見守り、根気強く治療

子どもの夜尿を考える

しずおかクロス NAVI

ANAグループより

「すずらんのしおり」をいただきました

information

来院時の検温にご協力下さい

ホームページ

リニューアルのお知らせ



つらい発作を新薬で予防

「片頭痛発作の発症抑制外来」がスタート

当院では、2021年5月より新たに「片頭痛発作の発症抑制外来」を開設しました。これは、多くの方が悩まされている片頭痛に対して、発症を予防する新薬「片頭痛発症抑制薬」を用いた治療を行う外来です。



日本には約1000万人の片頭痛患者さんがいると推測されていますが、大半の方は医療機関を受診することなく、市販の頭痛薬を服用して我慢しているようです。しかし医療機関を受診することで、市販薬ではなかなか抑えられない痛みを抑えられる薬が処方されることもありますし、頻回に発作が起こる患者さんの場合は、発作を起こりにくくするための予防薬が使えることもあります。

従来、国内で使われていた予防薬は、もともと抗てんかん薬など他の病気のために開発されたもので、片頭痛に対しても効果が認められたことから予防薬として使われるようになりました。この薬を飲んでおくと、発作の発症頻度がそれまでの半分以下になったり、もし発作が起きた場合も、痛みを抑える薬がよく効くようになります。ただ実際には、約8割の

患者さんが「想像したほどの効果が得られない」「効果が出るまで時間がかかる」「眠気などの副作用があり、飲みにくい」などの理由から、2ヵ月程度でこの薬を飲むのをやめています。

これに対し、今回発売された新薬「片頭痛発症抑制薬」は、片頭痛治療を目的に研究・開発されたものです。月1回程度皮下注射を行うもので、欧米では2018年に認可が下り、すでに世界中で使われています。臨床試験においても、これまでの予防薬が効かなかった患者さんへの効果が示されています。

ただしこの新しい薬はどなたでも使えるお薬ではありません。あくまでも、片頭痛が頻回にあり、医師の指導のもとで適切な治療を行ってきたが、十分な効果が得られず、日常生活に支障をきたしている患者さんに対して

使われる治療法です。

これまで片頭痛で悩みながらも医療機関に相談したことがなかった方は、まずはかかりつけの医療機関を受診し適切な指導を受けるとともに、従来からの薬による治療を試してみることをおすすめします。適切な治療が続いたが、なかなか効果が得られにくいと感じる方は、かかりつけ医にご相談の上で当外来を受診してみてください。

担当診療科：脳神経内科

担当医：脳神経内科部長 今井昇

診療時間：月・火曜 14:00～15:00

※紹介予約のみです。
地域医療連携課へご連絡下さい。

INFORMATION

インフォメーション

ホームページリニューアルのお知らせ

このたび、当院ホームページを全面リニューアルしました。新しいサイトでは、スマホやPC、タブレットなど、お使いの端末に合わせて表示を最適化するとともに、デザインもより見やすいものに一新。必要な情報に、よりスムーズにアクセスできるようになりました。さらに今後は、入院中の患者さんへの「お見舞いメール」やリクルートページの強化など、従来からあるコンテンツもより使いやすくアップデートする予定、より良いサイトを目指して充実を図ってまいります。皆さまの健康な毎日のために、当院ホームページをぜひお役立てください。

<https://www.shizuoka-med.jrc.or.jp/>



暮らしに役立つ情報をおとどけ

しずおかクロス NAVI

ANAグループより「すずらのしおり」をいただきました

去る5月26日、ANAグループ(全日本空輸株式会社)より、当院に入院されている患者さんの元へ、爽やかなすずらの香りの「しおり」が届きました。この活動は、毎年すずらの季節である6月頃、日本赤十字社関連の51施設で実施されているもの。当院に対しては富士山静岡空港が開港した2009年に始まり、今年で13回目を迎えました。

残念ながら本年は新型コロナウイルス感染抑制の観点から、例年実施してきた贈呈式は行われませんでした。いただいた「しおり」は入院されている患者さんそれぞれの手元にお届けしています。すずらの清楚な香りが、皆さんの回復への励みになりますように。

